“しまちる” について

“しまちる”ってなに？

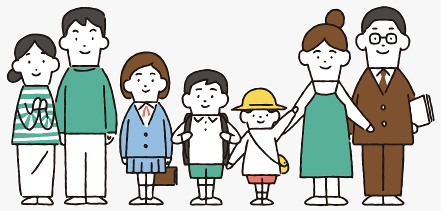
“しまちる”は、四万十市のこどもたちが、健やかに成長して、おとなになった時に、身に付けていてほしい「力」を具体的にして、その力を持ったこどもの姿をめざして、保育所や小・中学校、家庭、地域それぞれが、どのようにこどもに関わり、お互いがどのようにつながっていくべきかを示したカリキュラムです。
“しまちる”がめざす、こどもに身に付けてほしい「力」は、知識・計算力などの【アタマのちから（認知能力）】よりも、意欲・忍耐・自信・自立・協調・共感などの【ココロのちから（非認知能力）】をより大事にしています。

“しまちる”がめざすもの

“しまちる”は、保育所や学校だけでなく、児童館や学童保育、スポーツ少年団や子育てサークルなど、こどもに関わるすべての人たちで共有していき、こどもたちがたくさんの実りある経験ができて、生涯を幸せに生きていけるよう育つことができる環境が作られることをめざしています。

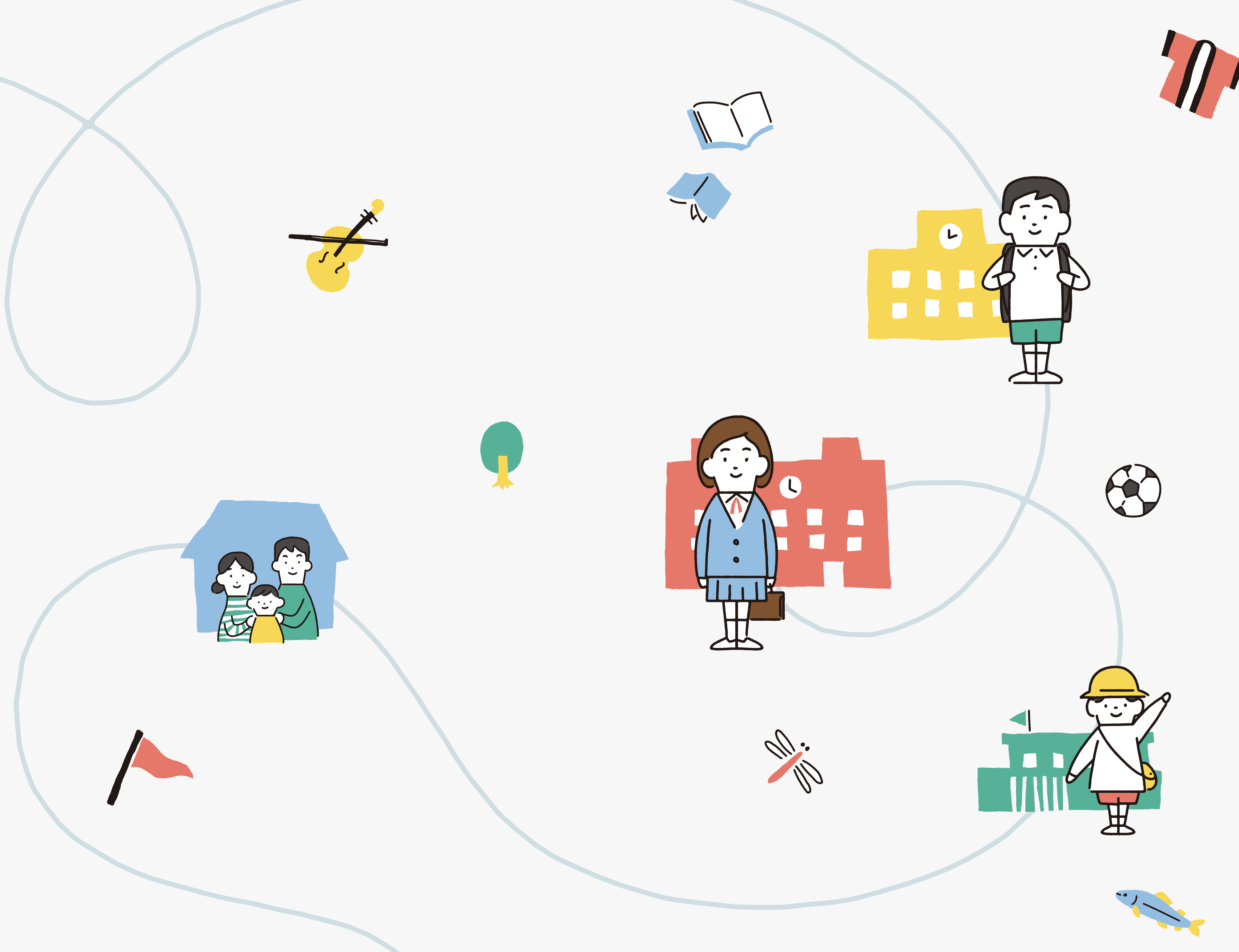
”しまちる”ができるまで

“しまちる”をつくるために、保育所の園長せんせいや小中学校の校長先生に集まっていただき、今のこどもたちの状態や取り巻く環境について、優れている部分や課題などを出しあって、こどもたちの将来の幸せな姿を思い描きながら熱心に話し合っていただきました。
そして、実際に保育所や学校で行っている取り組みを、5つの「目指すこどもの姿」ごとに整理してまとめ、家庭や地域に連動して取り組んでもらいたいことを、分かりやすい表にしました。
“しまちる”には、こどもに関わっているおとなたちの熱い想いが、ぎゅうぎゅうにつまっています。



“しまちる”を読んでいる おとなのみなさんへ

“しまちる”では、四万十市のこどもたちが、今とこれから、一生を自分らしく幸せに生きてほしいという思いのもとに、これを実現するためにどんな力が必要か、どんな姿を目指すべきかを明らかにしました。
こどもたちの直接の保護者だけでなく、これを読むおとなたちみんなで、この目指す姿をこのまちの共通の目標として共有し、こどもたちが目指す姿に少しでも近づくために、おとなたちそれぞれが自分の立場で何ができるかを考え、こどもたちの成長にかかわっていただければ幸いです。



四万十市のこどもの育成目標 及び
保幼小中連携カリキュラム

発行　四万十市・四万十市教育委員会

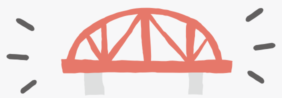
四万十市教育委員会 学校教育課　TEL:0880-34-5445
四万十市 子育て支援課　TEL:0880-34-9007
〒787-8501　高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地

カリキュラムの詳細はこちら

川とともに生きるまち shimanto 四万十市

みんなで育てる

しまんと ちるどれん



四万十市のこどもの育成目標
及び 保幼小中連携カリキュラム

第1版（令和7年4月1日施行）　四万十市　四万十市教育委員会

四万十市のこどもの育成目標 ＆ 保幼小中連携カリキュラム

目指すこども像・目指す姿	保育所・幼稚園	小学校	中学校	家 庭	地 域
チャレンジ精神のあるこども 育成したいチカラ：チャレンジ精神 CHECK POINT ｜失敗してもあきらめず挑戦できる ｜勇気を持って行動できる ｜課題にコツコツ取り組める ｜目標に向けて努力（自分磨き）ができる ｜何事にも意欲的に取り組める	●チャレンジしたことを認め、励まし、自立・自律できるように支える。 ●工夫し試行錯誤しながら、自分のことがすごいと思える経験ができる機会を作る。	●目的意識をもって主体的に取り組む活動を設定する。 ●失敗を肯定的に捉え、どうすればよかったか考えさせる。 ●課題を多様な考えで解決することができるよう取り組む。	●目標達成まで継続して努力できるようにする。 ●努力する姿勢は、人生にプラスになると伝え、新たな挑戦へ繋げる。 ●未知の問題解決に挑む力を育成する。	●子どもが興味を持ったことは進んで後押しし見守る。 ●家庭で会話をする場面を作り、子どもの頑張りを応援する。	●子どものチャレンジする姿を見守り声をかける。 ●子どもたちの日々の活動を見守り、肯定的な声掛けをする。
健康でたくましいこども 育成したいチカラ：心身の健康とたくましさ CHECK POINT ｜健康な心と体 ｜基本的な生活習慣を身につける ｜あそびこめる力（集中力） ｜何事も楽しめる力（心の余裕） ｜あきらめずに最後までやり遂げる力 ｜自分で考え判断し、自主的に行動できる力	●日々の繰り返しの経験の中で、危険なことについて気づけるよう取り組む。 ●何を願っているか汲み取り、環境構成を考える。 ●食育を大切にし、計画的に取り組んでいく。	●友達と関わりながら外で遊ぶ。 ●体を動かすことの楽しさや達成感を味わえる活動を体験させる。 ●自分で決めた目標に向かって、取り組み、達成感を味わうよう工夫する。	●自分自身でスケジュールを立て管理する場面を仕組み実行させる。 ●自ら考え行動できるよう、指示を少なくし、見守る。 ●生徒が工夫し実行する機会を設定する。	●基本的な生活習慣をしっかり身に付けさせる。 ●家を、子どもにとって安心できる場にする。 ●メディアやＳＮＳ利用のルールづくりをする。	●地域の人たちとラジオ体操などからだ作りに関する活動を一緒にする。 ●子どもたちの活動場所の整備等、地域全体で環境を整える。
自尊感情・自己肯定感が高いこども 育成したいチカラ：自尊感情 自己肯定感 CHECK POINT ｜自分も他人も同じように大切にできる ｜自分の持つ良さに気付ける ｜多様性を認め合える ｜他人に共感することができる ｜悩みを共有することができる	●子どものありのままの姿を受け入れ、友達と認めあえるようにする。 ●自分の意見を言い、友達と共感し、個々の違いを認め合えるような経験を大切にする。	●頑張りや良さを認め、肯定的な声掛けを行い、過程を褒める。 ●他者と交流する機会を設け、自分の良さや成長を感じるとともに、他者理解の経験を積ませる。	●地域貢献活動などに参加し、地域との交流を通じて、自分が役に立っていることを実感する。 ●多様性を理解し、自分も他人も認め、受け入れる心を育む。	●子どもの気持ちを否定せず、肯定的な表現で声掛けをする。 ●触れ合いやスキンシップの際に「だいすきだよ」「ありがとう」と声をかけ、愛着関係を育む。	●肯定的な表現で声掛けをする。 ●子どもの良い所を見たらほめる。 ●子ども達と関わる機会を多く持つようにする。
コミュニケーション能力のあるこども 育成したいチカラ：コミュニケーション能力 CHECK POINT ｜あいさつができる ｜人の話をよく聞き、想像したり考えたりできる ｜自分の思いを自分の言葉で伝えることができる ｜リーダーシップを発揮できる ｜仲間や他者と協働できる	●笑顔で挨拶ができ、人と関わろうとする力を育む。 ●自分の思いを伝えようとする姿を認める。 ●自分の考えを出し、友達の考えを聞きながら生活できるように見守る。	●誰に対しても、気持ちの良い挨拶ができるよう取り組む。 ●自分の考えや思いを伝えあい、協働して課題解決する力を育成できるよう取り組む。	●あいさつの大切さを伝えられる挨拶運動に取り組む。 ●自分の意見を伝え、他者の意見を聞き、自分の考えを深める。	●家庭内で挨拶を親から進んで行い、気持ちを伝えあう。 ●親子で、お互いに一日の出来事を話し、お互いにしっかり聴く。	●子どもと話す機会があるときには、まず子どもの声に耳を傾け話を聞く。 ●子どもを見守り、あいさつ等の声掛けをする。
ふるさとを愛するこども 育成したいチカラ：ふるさとを愛する心 CHECK POINT ｜ふるさと（家族や地域、それぞれの単位のルーツ）についてもっと知りたい、関わりたいという心を持てる ｜ふるさとに対し愛する心や親しみを持てる ｜ふるさとに関わる情報発信ができる	●地域の人と挨拶を交わし、地域に親しみを持てるようにする。 ●地域のイベントに参加し、地域の人と触れ合う機会を持つ。	●興味や関心を大切にし、地域の良さや課題を知ることができる学習内容を設定する。 ●地域の歴史・文化を学習し、ふるさとを愛する心情を育てる。	●地域の活動について、課題を見いだし、情報を収集して解決策を模索する。 ●地域の課題の解決に取り組むことで、広い視野で考える力を養う。	●地域の行事などに親子で積極的に参加し、地域の良さを知る。 ●親子で自然に触れる実体験を通して、子どもが学びや発見できる機会を設ける。	●自然や伝統、地域の人材など地域の良さを積極的に子どもたちに伝えていく。 ●地域の行事に児童を巻き込み、文化の伝承を行う。